



## クラブハウス間の連携・協力体制の 構築へ向けた新たな試み

～スカイプ (Skype) を活用して～

日本精神障害者リハビリテーション学会  
第19回 京都大会  
2011年11月13日(日)  
セッション5 (関わり)

We Are Not Alone !



## 発表の要点

1. クラブハウスモデルについて
2. スカイプ会議を始めた経緯
3. スカイプを用いた理由
4. スカイプ会議の内容
5. スカイプ会議の取り組みから見えてきたこと
6. 発表のまとめ
7. 今後へ向けて

We Are Not Alone !



## 1. クラブハウスモデルについて

- クラブハウスモデル（以下、CHモデル）は、精神障がい者に対する生活支援、就労支援、相互支援等を**包括的に行うリハビリテーションモデル**の1つ。
- 1940年代、米国、NYで誕生。
- 現在、**世界30ヶ国、300ヶ所以上**で実践。
- 国内では1980年代に紹介され、1992年から様々な実践的な動きが始まる。
- 国内では**5ヶ所**のクラブハウスが活動。

We Are Not Alone !



## 2. スカイプ会議を始めた経緯

- 障害者自立支援法の影響を受け、2009年以降、5ヶ所のクラブハウスによる**定期的な意見・情報交換をする機会を持つことが困難**。
- ↓
- 障害者自立支援法の中で、クラブハウスを継続していくためには、5ヶ所の**連携体制が重要である**ことを再認識。
- ↓
- **従来とは異なった方法**で、5ヶ所のクラブハウスで定期ミーティングを開催することが決定。

We Are Not Alone !



### 3. スカイプを用いた理由

- 5ヶ所のクラブハウスの距離的な問題を解決する方法を検討した結果、「**スカイプ**」を用いることになった。
- **インターネット電話**機能を備えたコミュニケーションツールの1つ。
- インターネット環境が整っていれば、どこからでも利用が可能。
- **2者間以上**でのやり取りが可能。
- 国内外、**通話料が無料**。

We Are Not Alone !



### 4. スカイプ会議の内容

- 2010年6月から5ヶ所のクラブハウスで実施。
- **毎月1回**（原則第2月曜日）、午後2～3時。
- 司会、書記を5ヶ所で輪番。
- 内容（過去の内容も含む）
  - （1）各クラブハウスの近況報告。
  - （2）助成金事業に関する協議。
  - （3）日本クラブハウス連合設立へ向けての検討。
  - （4）クラブハウス国際基準の日本語訳検討。
  - （5）世界のクラブハウスからの情報共有。

We Are Not Alone !



## スカイプ会議の様子

使用機器



会議中




We Are Not Alone !



## 5. スカイプ会議の取り組みから 見えてきたこと

- 国内のクラブハウスが身近になり、仲間意識や連帯感の向上。
- 現状や課題を共有し、共に考えていくことでCHモデルに対する興味や関心の芽生え、深まり。
- メンバーとスタッフが共に参加することで生まれる相互関係の構築。
- 新しいことにチャレンジする楽しさ。

We Are Not Alone !




## 6. 今後へ向けて

---

- 2011年6月に日本クラブハウス連合が設立し、連合のとしての活動。
- CHモデルに興味や関心を示している団体、グループや個人を対象にしたやり取りの開始。
- スカイク会議をメンバーはどのように認識し、捉えているのかについて、定期的に振り返りや意識調査を行っていく。

We Are Not Alone !



## 7. 発表のまとめ

---

- 困難な状況を乗り越えるためには “**関わり**” や “**つながり**” が不可欠。

↓

- **IT技術の可能性など**にも目を向ける**広い視野**をもつことが大切。

↓

- スカイクなどの、**新しいことに挑戦**していく**姿勢が重要**。

We Are Not Alone !



ご静聴、ありがとうございました

---

- クラブハウスに関する情報等は、

<input type="text" value="日本クラブハウス連合"/>	<input type="button" value="検索"/>
---	-----------------------------------

We Are Not Alone !